

NAOMI-CT導入レポート

抜歯や歯周治療にも役立っています

池田歯科医院(神奈川県川崎市) 池田 晃孝 副院長



インフォームド
コンセントの
向上に繋がりました!

A man with glasses and a dark t-shirt stands next to a computer monitor. The monitor displays a 3D digital model of a lower jawbone with teeth. The screen shows various colored markers (red, green, blue) and lines indicating specific points of interest or surgical planning. The background shows a clinical setting with glass walls and shelves.



アールエフのことは同社が歯科業界に参入する前から知っていましたが、D.M.も拝見していましたが、今までは購入のタイミングが合わず、なかなか購入まではいきませんでした。当院では3年くらい前からデジタル化の機会をうかがっていました、そろそろ購入かなと思つていた昨年のお盆時期、アールエフからNAOMI-CTのD.M.が届きました。詳しく話を聞いてみようと思つてみました。デンタルCTショードで他社のCTを見ていましたが値段が高い。しかし、アールエフのNAOMI-CTはコストパフォーマンスが抜群だったことが購入の決め手となりました。

導入当初の目的は、インプラントだけではない治療でしたが、実際に使ってみると抜歯の治療に大変役立つことがわかりました。パノラマ画像では下顎智歯や水平埋伏の立体的な位置は把握できませんが、CT画像では立体かつXYZ軸で見られます。また、小児の過剰歯では、パノラマ画像だと重なった状態で映るので前後の位置がわかりづらかったのですが、CT画像だと把握しやすくなりました。

インプラント治療でCTを利用するのは当たり前ですが、外科的な処置、歯槽膿漏など歯周治療にも役立っています。また、骨密度を測定できるのも良いですね。骨や損部位を立体的に把握することができます。二次元では映らない奥行きなど、今までは経験上の想像上でしか判断できませんが、CT撮影することで確実になります。歯の位置、骨の状態を簡単に3次元的に判断できるのが最大の魅力です。結果、インプラント治療だけでなく骨欠損や抜歯でのCT撮影の方が多くなりました。

- 他にもあるCT導入のメリット
- 臼歯の角度がリアルに見られる
- 下顎管の位置が立体的でわかりやすい
- 埋伏歯の歯茎を切る際、歯の位置の外側・内側がわかりやすい
- 治療の安全性向上、危険回避
- 患者さんにデータを渡すことができる
- 患部をスライスして説明ができる
- 診断の時間を大幅に削減することができる
(時は金なり)

リモートサポートサービスで
安心して利用できます

豊富な情報を患者さんに提供する
ことができるようになりました。
これは買つてみないとわからない
ので、是非買ってみてください。
CT画像は立体的で見やすく、説
明もしやすくなることから患者さ
ん自身の歯に対する理解度が深ま
っているようです。当院でもイン
フォームドコンセントの質の向上
に繋がりました。また、画像がリ
アルなので怖がると思つていた子
供たちにも反応が良かつたです。